

宮谷小学校

ゴール

3 すべての人に
健康と福祉を6 安全な水とトイレ
を世界中に13 気候変動に
具体的な対策を

災害時の清潔とトイレ

災害時の清潔

近年増える災害、備えなきやいけないことはたくさんありますが、その中でもまず清潔ということはとても大切です。どのようなことかというと、右の資料のように水のいらないシャンプー、液体歯磨き、体を拭くシート、ウエットティッシュなどの清潔を保つためのグッズはたくさんあります。ぜひ備えてみてください。



災害が起きてしまえば最低でも一週間程度の避難生活を強いられてしまいます。もし、避難所での生活で感染症にかかってしまうと右の資料に書いてある、災害拠点病院という県内の大きい病院に行くことになってしまいますので、もし災害で

道が塞がったり、救急車が来れなかったりしまって病院に行くことが困難になってしまい、重症化してしまうリスクがあります。それを防ぐ方法は、ご飯を食べるときや屋外にいる時以外にはできるだけマスクをして、手の除菌や体を清潔に保つことや身の回りの物をしっかりと除菌するなどできる限りの感染症対策をすることが大切です。また、あるアンケートによれば全体の二割程度しか災害時の清潔について備えられていないという結果も出ています。災害時の清潔はとても大切なので、ぜひ備えてみてください。



皆さんは災害時の時にどうトイレをするか知っていますか。災害時などの時には断水・落雷などの時にトイレが流れなくなってしまうことがあります。その時トイレを簡単にする方法を今から教えます。

- 1 まずダンボールのフランプ部分を内側に折り込みます。
- 2 次に広げたポリ袋2枚を重ねて、段ボールを覆います。
- 3 真ん中にちぎった新聞紙を置いて、完成です。
- 4 和式便器の要領で用を足し終わったら、上のポリ袋の口を結んで、所定の場所に捨ててください。
- 5 次回以降は、既にセットしている1枚目のポリ袋の上にもう1枚のポリ袋と新聞紙を重ねてセットして使います。

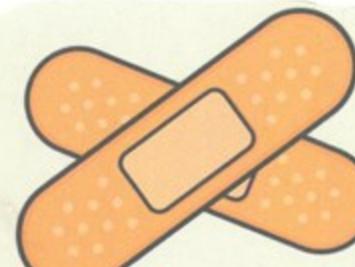
災害時のトイレ



僕たちのグループでは、災害時の非常用トイレについてまとめました。
はじめに便器カバーを広げます
そして図のように便器に被せます
汚物袋を広げて便座にオットします。
用を済ませたら汚物袋の中に凝固剤を入れます。
そして汚物袋の空気を抜くように袋を結びます。
図のように防臭袋の袋口を折り返します。
そして防臭袋に、汚物袋を入れて数回捻りしっかりと結びます。
保管する場所
場所によっては、地域団体のルールによって捨てられます。
保管する場所は、段ボールの上での太陽の光の当たらない風通しが良いところに置いてください

これで終わります。

災害時の応急処置



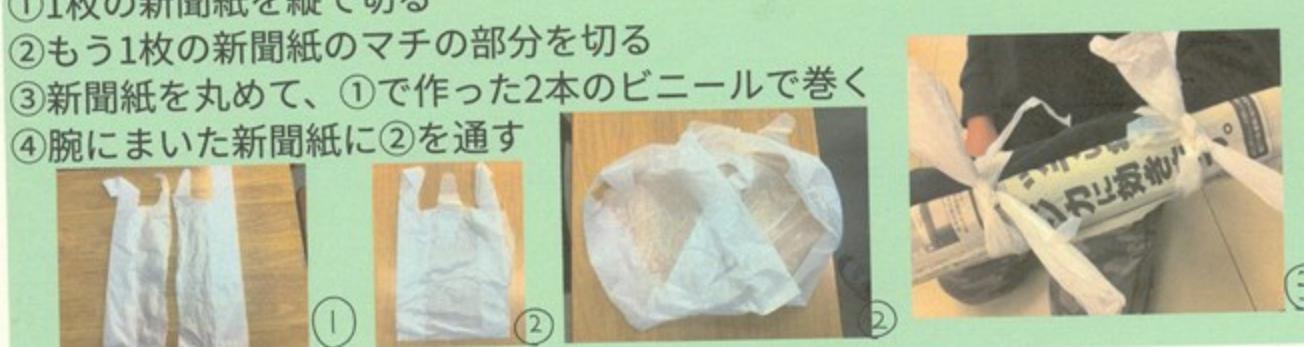
☆ガラスが刺さってしまった時の対処法

- ①傷口を水または消毒液で綺麗にする（異物が入った場合は取り除く）
- ②清潔なガーゼ、ハンカチなどを直接当て、強く圧迫する
- ③ネクタイや包帯などをガーゼの上からまく



☆骨折をてしまった時の対処法

- ◎使うもの ビニール袋2個、新聞紙適量、ハサミ、
- ①一枚の新聞紙を縦で切る
 - ②もう一枚の新聞紙のマチの部分を切る
 - ③新聞紙を丸めて、①で作った2本のビニールで巻く
 - ④腕にまいた新聞紙に②を通す



☆捻挫をした時の対処法

- ①患部を氷のうや冷たいタオルで冷やす。
- ②関節が動かないよう包帯でしっかり固定する。



こんにちは！
宮谷小学校6年2組の応急処置チームです。
実際にい、ポイントをまとめたのでぜひ見てください！

3 すべての人に
健康と福祉を13 気候変動に
具体的な対策を

災害時に処置方法を知っているか
知らないかで命が左右されます。
ぜひこのポスターを見て
学んでください！



災害における主な怪我の応急処置の方法を知ろう!!

- 怪我をしたり、他の人が怪我をしたりしたときに何をすればいいのかを把握する
1. 傷者に身体を動かさないようにして、患者を安全な場所に移動させる
 2. カガツをあわせながら、そのまま怪我を抱き取る
 3. 両手で怪我がある部位を包んで、自分の存在を周囲に知らせる
 4. 他人に怪我がついたために打撲や骨折をしてしまった時に介助する

打撲

1. 無理に動かさず、安静を保ちましょう。氷のうや冷たいタオルなどで患部を冷やすと、腫れや痛みが和らぎます。長時間激しい痛みが続く場合や、だんだん腫れや痛みがひどくなる場合は、骨折り疑われるため、医師に診察を受けてください。

骨折

1. 骨折した部位を動かさないようにして、患者を安全な場所に移動させる
2. 骨が折れた場合は、先に骨の応急処置をする
3. 板や傘、鍵盤、毛布、衣服などを用いて怪我の部位を固定する
4. 骨折部の上の方を下の方へと斜めで固定する

捻挫

1. 患部を氷のうや冷たいタオルで冷やす。
2. 関節が動かないよう包帯でしっかり固定する。

ガラスなどの尖った物によって切り傷を負った時の対処法

1. 血を水温水で洗い流し、徹底的に異物を取り除く。清潔なガーゼ・ハンカチ・シーツなどを直接傷口に当てて、手のひらで圧迫止血する。

出血

1. 血が止まらない場合は、直ちに心臓停止に対応する。手足であれば、心臓より遠い位置を握ると止血しやすい

止血

1. 血が止まらない場合は、直ちに心臓停止に対応する。手足であれば、心臓より遠い位置を握ると止血しやすい
2. 周囲に刺激を与えないよう、十分な息のできる衣服やバスタオルで包みます